

図書館だより 10月号

令和5年10月6日発行 川島中学校・高等学校図書館

読書の秋です！読書週間(10月27日～11月9日)です！

スポーツの秋、食欲の秋、勉学の秋…そして、もちろん、読書の秋ですね！さわやかな秋晴れの日に、虫の音が心地よい秋の夜長に、読書はいかがですか？

今年も、読書週間にあわせて、雑誌付録プレゼントを行います。図書館で本を借りて、景品をGETしよう！みなさんの参加をお待ちしています。

「読書週間」とは？

1947（昭和22）年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館、そしてマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。第1回の「読書週間」は11月17日から23日。これは、11月16日から1週間にわたって開かれるアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」にならったものです。各地で講演会・図書に関する展示会が開かれ、その反響は大きなものでした。「一週間では惜しい」との声を受け、現在の10月27日から11月9日（文化の日をはさんで2週間）となったのは、第2回からです。それから75年以上が過ぎ、「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は、世界有数の「本を読む国民」の国となりました。

その一方、物質生活の豊かさに比べ精神生活の低迷が問題視されている昨今、論理的思考の基礎となる読書の重要性は、ますます高まってきています。

「読書週間」が、みなさん一人ひとりの読書への関心と、読書習慣の確立の契機となることを願ってやみません。

公益社団法人 読書推進運動協議会 2023・第77回読書週間概要 より抜粋

「読書週間」マークの由来



その昔、ギリシャ神話の世界で「ふくろう」は、学問・技芸・知恵をつかさどる美貌の女神アテナの使者であり、また、代表的なポリスで文化の中心地アテナイ（アテネ）の聖鳥でもありました。古代のギリシャ人たちは、賢そうな丸い目ですまし顔の「ふくろう」を知恵の象徴として大切にしたいといひます。

森の奥ふかく、静かに瞑想にふけるこの「ふくろう」の姿こそ、読書週間のシンボルマークとして最もふさわしいものと考え、長い間使用されています。

読書週間のしおり、ブックカバーは図書館で配布中です！

私のペースで しおりは進む

2023・第77回 読書週間
10/27～11/9



読書週間 雑誌付録プレゼントに応募しよう！



毎年、実施している『読書週間 雑誌付録プレゼント』に参加しませんか？

10月27日から11月24日の間に、図書館で本を借りた人に、雑誌の付録などの景品が当たるチャンス！

1回の貸し出しにつき、応募券を1枚さしあげますので、希望商品の番号を書いて、応募箱に入れてください。後日、図書委員さんによる厳正な抽選で当選者を決定します。毎日本を借りると、当選確率もUP！！去年参加した人はもちろん、今年初めての人も、ぜひ、本を借りて応募してくださいね。

さて、今年はどんな景品があるでしょうか？景品リストは図書館にあるので見に来てね。

ex. ぐりとぐらクリアファイル、文豪ストレイドッグスクリアファイル、アニメージュ各種ポスター、ニコラ付録Sonaグリッター、17kgぼこぼこきんちゃく、カラビナ付きアルミボトル、消しゴム、レターセット、エコバッグなど

新しく入った本を紹介します。読んでみませんか？

- ★ 現代人のための哲学 AI時代を生きるための哲学的な思考
- ★ 心と行動がよくわかる 社会の心理学 日常生活のあらゆる場面で役に立つ、心と行動の科学
- ★ 新AI時代の数学 ChatGPTで変わる世界 超データ社会に欠かせない数学
- ★ 最新宇宙大事典250 これを知っていれば宇宙がわかる重要キーワード集
- ★ こんなにすごい！ふしぎな動物超図鑑 動物たちのすごい能力の秘密
- ★ 感動する人体 知れば知るほどおもしろい！あなたの体の精巧なしくみ
- ★ 科学的に正しい栄養の教科書 専門家が教える正しい知識と理想の食生活
- ☆ ニャン古語辞典 いとをかし！ 東京書籍出版編集部/編 東京書籍
- ☆ 知覧からの手紙 新版 水口文乃/著 中央公論新社 特攻隊員の婚約者が語るノンフィクションです。
- ☆ 新編ぼくは12歳 岡真史 12歳で大空に身を投げた少年の詩集。両親と読者の往復書簡も加えた新編。

